

令和2年6月30日

特定非営利活動法人テクノメイトコープ

第19回 通常総会

議 題

報告事項

1. 令和元年度（第19期）事業報告に関する件
2. 令和元年度（第19期）決算報告に関する件
3. 令和元年度（第19期）監査報告に関する件

審議事項

1. 令和元年度（第19期）利益処分案に関する件
2. 令和2年度（第20期）事業計画案に関する件
3. 令和2年度（第20期）NPO活動予算案に関する件
4. 新役員（令和2年7月1日付け）選任の件

その他

以 上

事業報告書

第19期（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

「循環型社会システムを視野に入れたボランティア活動を通じ、持続可能な社会の発展に尽くすことを基本方針」に則り、「相談」、「伝える」、「助ける」、「創り出す」、「育てる」をキーワードとして、主に次のような活動を行った。

1. 公開講演会（2回）と技術研修会および活動報告会（6回）

- ・ 夏季公開講演会は不二製油株式会社開発部企画室長 伊吹昌久氏、元テクノポリマー株式会社取締役社長 伊藤友一氏、大阪市立大学大学院工学研究科教授 金大貴氏にご講演頂く。

冬季公開講演会は防災特集を組み、大阪市立大学大学院工学研究科教授 川合忠雄氏、経済産業省近畿経済産業局産業部中小企業課課長補佐 安藤慎二氏、大阪市立大学特任教授学長補佐宮野道雄氏のご講演、その後忘年懇親会を開催した。

- ・ 技術研修会は大阪市立大学梅田サテライトにて6、7、11、12月を除く、毎月開催し、主に企業の方および新入会員の方を招いて活発に議論した。4月と10月はオープンセミナー形式とし、ファイナブル、AI/IoT 関連を開催し、外部から多数参加頂いた。但し、2、3月度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
- ・ 活動報告会も技術研修会の前に開催し、会員間の情報共有を行った。

2. 機関誌「環」、ホームページ

機関紙「環」は、毎月、編集会議を重ね、例年通り年4回発行した。

ホームページは、昨年リニューアルを実施し、更に改良を重ねている。

3. 部会・分科会・委員会活動

- ・ 資源循環部会（水研究会等）、環境技術部会（CO2削減分科会、省エネ分科会、新エネ分科会）、生産管理部会（中小企業支援プログラム作成委員会、AI/IoT研究会）それぞれが新技術を生み出すことを最終目標に、月1回会合を開催している。
- ・ 補助金委員会は法人会員にタイムリーに情報提供し、適宜、訪問支援も行った。ものづくり補助金および産学連携補助金を申請支援した。
- ・ AI/IoT研究会が発足し、中小企業を支援すべく大阪府 AI/IoT 推進ラボ事業にも参加した。また A 社に補助金申請等を支援し、採択され、推進も行った。
- ・ 新エネ分科会はこれまで NPO 協議会（OSK）と合同で開催しておりましたが、今年より TMC 単独で開催し、再生可能エネルギーの主力電源化システムについて検討中。

4. 教育事業

- ・ 「理科教育部会」は、昨年に引き続き、泉大津市の小学校延べ7校、14クラス、児童約500人に対して、TMC独自の理科実験授業を実施し、大好評を博した。来期、

更にテーマも増やし、泉大津市の小学校にて実施予定である。

- ・ B社の中学生向け夏休み理科実験教室のテーマを理科教育部会が提案指導した。
- ・ ドネーションサイトを開設し、約14万円の寄付金を教材費に活用させて頂く予定。

5. 法人会員への技術支援

- ・ 環境技術部会は『テクノエコ通信』をほぼ月1回、法人会員等に配信している。
- ・ C社；中小企業支援プログラム作成委員会が中心となって、生産性向上を支援中。
- ・ D社；新たな機械的接合テーマで、産学連携支援中。
- ・ E社；新製品の販路拡大、省エネ診断、事業継続力強化計画策定支援中。

6. 大阪公立機関および大学との協働体制の構築

- ・ 大阪産業技術研究所、和泉センター研究管理監櫻井芳昭氏に TMC 技術研修会にて、「二次電池の進化と技術開発の動向」について講演頂く（2019.5.22）。
また山口拓人主任研究員を F社と訪問し、レーザーについてご指導頂く（2019.5.9）。
- ・ 大阪府立環境農林水産総合研究所の グループリーダーの古川真氏に TMC 技術研修会にて「大阪環農水研における食品研究」について講演頂く（2019.8.28）。
- ・ 大阪産業創造館の多賀谷事業部長には種々ご相談頂いております。
- ・ 大阪市立大学との協働は以下の通りです。
 - i. 前述の公開講演会では、金教授、川合教授、宮野特任教授にご講演頂く。
 - ii. 機械物理系准教授中谷隼人氏には「金属材料を用いたマルチマテリアル化による CFRP の損傷許容性改善」について、TMC 技術研修会にて講演頂く（2019.5.22）。その後、産学連携支援中。
 - iii. 三村忠昭 URA を通じて、三谷電池技術研究所合同会社代表社員三谷諭氏に、「塩水を用いた蓄電デバイスに開発と事業化」について、TMC 技術研修会にて講演頂く（2019.9.25）。その後、産学連携支援中。
また別途三村 URA よりご紹介頂いた H社のケミカルエンジニアリングを支援。

7. 大阪府産業支援型 NPO 協議会（OSK）との連携

- ・ OSK・TMC 共催セミナー「世界の課題に企業はどう対応するか！」を10月3日より12月6日まで毎週一回、産創館にて開催した。
- ・ OSKのメルマガを公開講演会、オープンセミナーでは活用させて頂いております。

8. 東京支部の活動

平成24年2月に発足、毎月1回会合を重ね、令和2年2月で第91回の会合を開催した。テレビ会議にて本部も会合に参加し、密に情報交換を行っている。

9. 理事会の開催

毎月、理事会を開催し、以上の活動を審議、報告して進めている。

10. 趣味の会

水墨画・囲碁・テニス・歴史散歩の会の各同好会、写真・俳句の各研究会の活動が活発に行われた。

以上

決算報告書

第 19 期

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月31日

テクノメイトコープ

貸借対照表

テクノメイトコープ

2020年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	3,886,646	【流動負債】	597,641
現金・預金	3,820,646	未払金	117,641
未収入金	66,000	未払法人税等	70,000
【固定資産】	735,000	前受金	410,000
【有形固定資産】	35,000	負債の部合計	597,641
工具器具備品	35,000	資本の部	
【投資等】	700,000	【剰余金】	4,024,005
敷金	700,000	当期末処分利益	4,024,005
		(うち当期利益)	△1,056,957
		資本の部合計	4,024,005
資産の部合計	4,621,646	負債・資本合計	4,621,646

(注)

消費税の経理処理方式

税込処理

損益計算書

テクノイトコープ

自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日

(単位:円)

経常損益の部		
【営業損益の部】		
【営業収益】		
【売上高】		
法人会費 & 賛助	2,000,000	
個人会費収入	1,183,000	
事業収入	460,000	
運営協力金収入	8,000	
研修会収入	71,000	
講演会会費収入	371,000	
教育関係収入	306,680	
AI / IoT 関連収入	570,400	
売上高合計		4,970,080
【営業費用】		
【売上原価】		
事業費用	353,400	
研修会費用	13,854	
講演会費用	406,670	
教育関係費	163,198	
AI / IoT 関連	429,055	
合計	1,366,177	
売上原価		1,366,177
売上総利益		3,603,903
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費		4,594,976
営業利益		△991,073
【営業外損益の部】		
【営業外収益】		
受取利息	316	
雑収入	3,800	
営業外収益合計		4,116
経常利益		△986,957
税引前当期利益		△986,957
法人税等		70,000
当期利益		△1,056,957
前期繰越損益		5,080,962
当期未処分利益		4,024,005

販売費及び一般管理費内訳書

テクノメイトコープ

自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日

(単位:円)

広 告 宣 伝 費	125,190
交 際 費	10,090
通 信 費	205,417
水 道 光 熱 費	249,429
諸 会 費	32,000
支 払 手 数 料	10,306
地 代 家 賃	2,720,640
租 税 公 課	400
雑 費	26,394
文 具 消 耗 品 費	247,370
事 務 局 費	945,000
東 京 支 部 活 動 費	22,740
販売費及び一般管理費	4,594,976

監査報告書

令和2年6月12日

特定非営利活動法人テクノメイトコープ

理事長 大嶋 寛 様

監事 保田 靱宏 

当監事会は、平成31年4月1日から令和2年3月31日
までの第19期営業年度の貸借対照表および損益計算書を厳正に
監査した結果、上記期間の収支の状況を正しく示しているもの
と認めます。

以上

NPO 法人テクノメイトコープ

利 益 処 分 (案)

令和2年6月30日

(単位 円)

当期未処分利益	4,024,005
---------	-----------

これを次のとおり処分します。

次期繰越利益	4,024,005
--------	-----------

以上

令和2年度事業計画（案）

第20期（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

基本方針

循環型社会システムの構築を視野に入れたボランティア活動を行い、持続可能な社会の発展に尽くすことを基本方針とし、主に技術者 OB が社会に「伝える」、「助ける」、「創り出す」、「育てる」を主なキーワードとして技術・経営支援活動を行い、社会に貢献して参ります。

活動計画

（1）内部活動

- 1 技術研修会および活動報告会 6,7,11,12月を除く毎月1回（原則第4水曜日）
但し、4,10月はテーマを決めたセミナー方式とする。
また新型コロナウイルス感染防止対策として、オンラインセミナーも検討する。
- 2 公開講演会 7月と12月の年2回
- 3 機関誌「環」発行 年4回（季刊）
- 4 理事会 毎月1回
- 5 新年賀詞交換会 1月
- 6 部会(資源循環部会、環境技術部会、生産管理部会)・委員会活動 毎月1回
水研究会、CO2削減分科会、省エネ分科会、新エネ分科会、中小企業支援プログラム作成委員会、AI/IoT研究会、補助金委員会の7分科会の活動を行い、当法人の収益事業拡大に貢献する。
- 7 東京支部活動（本部との連携強化） 毎月1回
- 8 各種同好会（適宜）

（2）外部活動

- 1 中小企業、法人会員への支援活動の強化
- 2 教育事業
「理科教育部会」、「環境出前講座」を活発化し、次世代人材育成を目指す。
- 3 NPO協議会との連携（各専門部会および助成金事業の連携）
- 4 産技研、環農水研、産創館、大学（府大、市大等）との連携
- 5 広報活動の強化（ホームページの改良、専門分野別名簿の活用等）

（3）組織の活性化

- 1 若手人材の獲得
- 2 財務体質の改善

以上

令和2年度特定非営利活動に係る事業収支予算書(案)

特定非営利活動法人テクノメイトコープ

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位 円)

科 目	予 算 額	備 考
I 収入の部		
1 会費収入	3,460,000	
法人会費収入	1,680,000	14社 × 10,000円/月 × 12ヶ月
個人会費収入	1,300,000	130人 × 10,000円/年
賛助金収入	480,000	2社 × 20,000円/月 × 12ヶ月
2 講演会・技術研修会収入	560,000	
公開講演会収入	420,000	60人 × 7,000円/人 20人 × 2,000円/人
技術研修会収入	140,000	40人 × 500円/人 × 7回
3 寄付金等	100,000	
運営協力金	100,000	環境塾、その他
4 収益事業収入	1,200,000	
収益事業収入	1,200,000	補助金、技術支援
5 理科教育事業収入	120,000	
理科教育事業収入	120,000	30クラス×4,000(泉大津市教育委員会)
6 営業外収入	51,000	
雑収入	50,000	俳句の会、囲碁、順道会等
受取利息	1,000	
当期収入合計(A)	5,491,000	
前期繰越収支差額	4,024,005	
収入合計(B)	9,515,005	
II 支出の部		
1 講演会・技術研修会費用	323,000	
公開講演会 会場費	250,000	1回 × 250,000円/回
" 講師謝礼	60,000	3名 × 20,000円/人
" 会場運営費	5,000	
技術研修会 会場費	0	8回 × 0円/回
" 資料他	8,000	8回 × 1,000円/回
2 収益事業費用	700,000	
収益事業費用	700,000	補助金、技術支援
3 理科教育事業費用	200,000	
理科教育事業費用	200,000	教材費8万,講師費用12万
4 管理費	4,158,800	
役員報酬	0	
交通費	120,000	10,000円/月 × 12ヶ月
広告宣伝費	130,000	HP改良
交際費	10,000	
通信費	204,000	17,000円/月 × 12ヶ月
水道光熱費	264,000	22,000円/月 × 12ヶ月
新聞図書費	10,000	
諸会費	32,000	町内会1.2万、NPO協議会2万
支払手数料	10,000	
減価償却費	0	
地代家賃	1,777,600	228,800円/月 × 2ヶ月 6月より事務所縮小 132,000円/月 × 10ヶ月
租税公課	3,200	収入印紙
文具消耗品費	168,000	環削減 14,000円/月 × 12ヶ月
IT機器費	150,000	PC購入
事務局費	960,000	80,000円/月 × 12ヶ月
東京支部活動費	100,000	10名
雑費	150,000	事務所整理120,000
法人税・消費税等	70,000	
当期支出合計(C)	5,381,800	
当期収支差額(A)-(C)	109,200	
次期繰越収支差額(B)-(C)	4,133,205	

役員候補(案)

令和2年7月1日付

理事候補者名

西口 一美	元 株式会社電通	再任
福井 眞彌	ヘキサケミカル株式会社 会長	再任
久保 建二	大阪府立大学工業高等専門学校名誉教授	再任
柳瀬 寛	元 堺市役所	再任
溝尾 博	元 木村化工機株式会社	再任
村田 吉和	元 住友電気工業株式会社	再任
大嶋 寛	大阪市立大学名誉教授	再任
堀 秀雄	元 パナソニック株式会社	再任
川本也寸志	日本滌化化学株式会社	再任
吉田 悟	元 大阪ガス株式会社	再任
斉藤 昇	元 株式会社日本触媒	再任
宮武 和孝	大阪府立大学名誉教授	新任
清水 勝	元 パナソニック株式会社	新任
江村 和朗	元 ユニチカケミカル株式会社	新任

退任理事名

退任(令和2年6月30日付)

村田 博史	元 日本コンピューター・システム株式会社
岡本 長興	元 武田薬品工業株式会社
隅田 憲武	元 シャープ株式会社

監事候補者名

保田 鞆宏	元 大阪ガス株式会社	再任
-------	------------	----

退任監事名

退任(令和2年6月30日付)

本渡 諒一	元 心斎橋法律事務所所長
-------	--------------